

## 中間レビュー調査結果要約表

1. 案件の概要	
国名：ミャンマー	案件名：初等教育カリキュラム改訂プロジェクト
分野：教育	援助形態：技術協力プロジェクト
所轄部署：JICA 人間開発部基礎教育グループ 基礎教育第一チーム	協力金額（評価時点）：30億1,600万円
協力 期間	(R/D)：2014年1月31日 2014年5月～2021年3月 (6年10カ月)
	先方関係機関：教育省 (MOE) 教育調査・計画・訓練局 (DERPT)、高等教育局 (CDHE)、基礎教育局 (DBE)
	日本側協力機関：株式会社パデコ、株式会社国際開発センター、教育出版株式会社
他の関連協力：	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・技術協力「児童中心型教育強化プロジェクト・フェーズ2」(2008～2012年)</li> <li>・「教育セクター情報収集・確認調査」(2012～2014年)</li> <li>・個別専門家派遣「教育政策アドバイザー」(2014～2017年) (2017～2019年)</li> <li>・無償資金協力「教員養成校改善計画」(2014～2016年)</li> <li>・財政支援方式無償資金協力「洪水被災地域学校復旧計画」(2015～2020年)</li> </ul>	
1-1 協力の背景と概要	
<p>ミャンマー政府は国際水準の教育の実現をめざし、国家教育法の制定や教育基本法の改定、学制改革や基礎教育行政の地方分権化等、大規模な教育改革に着手している。JICAはミャンマーが東南アジア諸国連合 (ASEAN) に加盟した1997年から、教育省が進める児童中心型教育 (CCA) の導入を支援すべく、先方からの要請に基づき、カリキュラム提言や教員研修等、基礎教育の質的向上に資する協力を継続してきた。他方、児童中心型授業の普及を継続的に支援してきたものの、半数以上の教科で10年以上改訂されていない教科書に基づき授業が実施され、依然として暗記中心のアセスメント (試験) が実施されるなど、授業で使われる教科書やアセスメントに大きな課題を抱えており、児童中心型教育の定着の障害となっていた。このような課題を克服し、教育改革を進めるために、教育省は「包括的教育セクターレビュー」(CESR、2012～2015) を実施し、それに基づき「国家教育戦略計画」(NESP、2016～2020) を策定するなど、教育改革に取り組んできている。</p> <p>本技術協力プロジェクト (以下、「本プロジェクト」という) は、前述のCESRに基づき、初等教育 (小学校1～5年生) 全10科目 (ミャンマー語、英語、算数、理科、社会、道徳・公民、体育、音楽、図工、ライフスキル) の新カリキュラムにのっとった教育活動が小学校及び教員養成校で実施されることを目標とし、新カリキュラムに基づく教科書・教師用指導書及びアセスメントツールの開発、新カリキュラム導入のための現職教員及び教員養成校向け研修、新カリキュラムに基づいた教員養成課程の整備に貢献するため、2014年5月に開始された。</p>	

## 1-2 協力内容

### (1) 上位目標

初等教育の新カリキュラムが全国で施行される。

### (2) プロジェクト目標

初等教育の新カリキュラムに沿った教育活動が小学校及び教員養成校（EC）で実施される。

### (3) 成果

1. 新カリキュラムフレームワークが開発される。
2. 新教科書及び教師用指導書が開発される。
3. 新しいアセスメントツールが開発される。
4. 新しい初等教育カリキュラムが教員養成校に普及する。
5. 新カリキュラムの普及活動が導入される。

### (4) 投入（評価時点）

#### 1) 日本側：総投入額 30 億 1,600 万円

- ・ 専門家派遣：累計 50 人（463.54MM）、①総括/教育計画、②副総括/カリキュラム開発、③副総括/教師教育、④算数教育、⑤理科教育、⑥総合学習/社会科教育、⑦国語教育、⑧英語教育、⑨体育教育、⑩美術教育、⑪音楽教育、⑫ライフスキル教育、⑬教科書開発、⑭教科書編集、⑮印刷技術、⑯アセスメント、⑰インパクト評価/研修、⑱教師教育政策、⑲教員養成研修計画/教材作成、⑳新カリキュラム導入研修計画/教材作成、㉑調整/研修管理/広報、㉒教員養成研修モニタリング評価、㉓国内研修
- ・ ローカルコスト負担：39 億 200 万 MMK（約 2,600 万円\*）（ローカルコンサルタント、国内出張旅費など）
- ・ 機材供与：3 億 6,100 万 MMK（約 2 億 8,100 万円）（コンピューター、印刷機など）
- ・ 研修員受入れ：159 人（カウンターパートの本邦研修）

#### 2) ミャンマー側：

- ・ 主要カウンターパート配置：66 人
- ・ ローカルコスト負担：539 億 5,000 万 MMK（約 38 億 8,400 万円）（教科書・教師用指導書の印刷費、現職教員研修など）

## 2. 評価調査団の概要

調査者	担当分野	氏名	所属
	団長/総括	水野 敬子	JICA 国際協力専門員（教育）
	協力企画	徳田 由美	JICA 人間開発部基礎教育第 1 チーム 企画役
	評価分析	伊藤 治夫	株式会社アイコンズ シニアコンサルタント
調査期間	2019 年 6 月 23 日～7 月 13 日		評価種類：中間レビュー

\* 本報告書内では、JICA 統制レート 1MMK = 0.074 円（2019 年 5 月）を使用した。

### 3. 評価結果の概要

#### 3-1 実績の確認

##### (1) 成果（アウトプット）

###### 【成果1】達成された。

指標 1-1 新カリキュラムフレームワークが提案される。【達成】

→ CESR 実施の過程で初等レベルのカリキュラムフレームワークが提案された。

指標 1-2 新カリキュラムフレームワークが教育省の提言に基づき国家カリキュラム委員会（NCC）により最終化される。【ほぼ達成】

→ 新カリキュラムフレームワークが 2014 年 12 月に完成し、2015 年 5 月に教育省により承認された。

→ 新カリキュラムフレームワークは新政権により再度検証され、2019 年に承認された。

###### 【成果2】計画通り達成している。

指標 2-1 新教科書及び教師用指導書が提案される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生の教科書及び教員用指導書が完成した。

→ 現在 4 年生の教科書及び教員用指導書の作成が開始された。

指標 2-2 新教科書及び教師用指導書が教育省の提言に基づき NCC により最終化される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生の教科書及び教員用指導書が承認された。

→ 4 年生の教科書の一部が NCC に提出されている。

###### 【成果3】計画通り達成している。

指標 3-1 サンプル問題集が開発される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生のサンプル問題集が教育省によって承認された。

→ 4 年生のサンプル問題集は作成中である。

指標 3-2 サンプル問題集の活用ガイドラインが開発される。【進行中】

→ 「サンプル問題集活用ガイドブック」は現在作成中、2019 年 9 月までに完成予定。

→ 2018 年 8 月に小学校低学年の「授業評価に関するリファレンスブック」が DERPT に提出、承認された。

###### 【成果4】計画通り達成している。

指標 4-1 教員養成校の教材が開発される。【計画通り達成】

→ 初等 1、2 年生の教科書の重要な内容をまとめた EC 教材が作成された。

→ 初等 1～3 年生に関する EC 研修計画及び研修モジュールが作成された。

指標 4-2 教員養成校向け研修が政府の定めた日程で実施される。【進行中】

→ EC の各教科におけるマスタートレーナーの養成が EC 研修（1 年生）及び現職教員への中央研修（2、3 年生）として行われた。

###### 【成果5】計画通り達成している。

指標 5-1 現職教員研修パッケージが開発される。【計画通り達成】

→ 1～3 年生の研修パッケージが作成された。

- 4年生の研修パッケージの作成が開始された。
- 指標 5-2 現職教員研修が政府の定めた日程で実施される。【計画通り達成】
- 現職教員に対する1～3年生カリキュラム導入研修が実施された。
- 1～3年生の管理者対象の新カリキュラム導入研修が実施された。
- さまざまな媒体を用いた広報活動が実施された。

(2) プロジェクト目標：達成見込み

- 指標 1 新しい学校時間割がカリキュラム実施計画に基づき導入される。【達成】
- 各学校に新カリキュラムに沿った時間割が導入された。
- 指標 2 新しい教科書がカリキュラム実施計画に基づき導入される。【一部達成】
- インパクト調査対象校の81%が新学期開始前に6教科すべて、19%が一部の教科の新2年生の教科書を受領した。
- 残りの4教科（ライフスキル、図工、音楽、体育）の教科書は教員にのみ配布され、児童へは配布されていない。
- 指標 3 新カリキュラムに基づいた授業が実施される。【計画通り達成】
- 1～3年生の教員25万人以上が現職教員の導入研修を受講した。
- 指標 4 新しいアセスメントシステムがカリキュラム実施計画に基づき導入される。【計画通り達成】
- インパクト調査対象のほぼすべての学校が、「サンプル問題集」及び小学校低学年のための「授業評価に関するリファレンスブック」を受領した。
- 指標 5 教員養成教材が教員養成校にて使用される。【計画通り達成】
- EC教材のフォーマットとして、EC教官用の指導案、講義ノート、学生用の資料を提供した。
- EC教員向けの研修モジュールが開発され、中央研修において活用された。

3-2 評価結果の要約

(1) 妥当性：高い

本プロジェクトの目標は「ミャンマー持続的開発計画 (MSDP) 及び国家教育戦略計画 (NESP) の方針と合致する。さらに、「日本・ミャンマー協力プログラム」との整合も確認された。教育省の教育改革のニーズにも合致しており、また採用されたアプローチも適切である。

(2) 有効性：やや高い

プロジェクト目標は、プロジェクト終了までに達成される見込みである。他方、4科目（ライフスキル、図工、音楽、体育）については、低学年の児童に配布されていないことは課題といえる。また、特に音楽や図工は導入研修以外にも研修の機会を求める意見が聞かれるなど、教員の一部は技量の不足により十分な授業実践ができていない。

(3) 効率性：中程度

既存のリソースを活用することでプロジェクト費用を最小限に抑え、計画通りアウトプット

が発現している。しかし、カリキュラム開発チーム（CDT）及び教師教育チーム（TET）メンバーの頻繁な異動、中等教育の教科書開発スケジュールとの重複に係る調整、現職教員及びECに対する新カリキュラム導入研修の質には改善の余地がある。

(4) インパクト：やや高い

現時点では、顕著なインパクトは現時点では確認できないが、上位目標はプロジェクトの完了後に達成される見込みが高い。また、新カリキュラムを用いた児童の算数の成績の向上が確認された。

(5) 持続性：中程度

本プロジェクトは政策面及び財務面での持続性は確保されている。他方、制度・組織面に関しては、ECや小・中学校からの教員により構成されている CDT メンバーは、プロジェクト終了後は元の所属に戻ることから、持続的カリキュラム改訂に向けた組織化が検討課題となる。技術面では、新カリキュラム導入研修だけでは教育現場での実践の定着は難しいため、教育省が進める「教員の継続的専門能力の開発（CPD）プログラム」への統合が求められる。

### 3-3 効果発現に貢献した要因

(1) 計画内容

- ・初等教育の全 10 科目を包括的なアプローチで支援することにより、教科間の系統性が確保され、新カリキュラムの教育現場での導入が促進されている。また、全教科の教科書において同じ教育理念（すべてにおいて調和のとれた発達、21 世紀型スキル、すべての教科の同等な扱い）が共有されているため、教師や児童が混乱することなく、導入が可能となった。
- ・教育省に設置された、教育・職業訓練教育セクター調整グループ（ETVSCG）内のカリキュラム、アセスメント、教員訓練/管理に係るサブセクター・ワーキンググループ（SSWG）への参画を通して、開発パートナーとの情報共有、関連プロジェクトとの調整、連携が促進された。

(2) 実施プロセス

- ・DERPT による適切な研修管理が実施されるなど、特に導入研修の実施において、教育省の強いイニシアチブが確認された。また、ディストリクト及びタウンシップ研修を担当する DBE は研修参加を通じて、参加者との積極的な協議を行い新カリキュラム実施に必要な情報を提供するなどの貢献がみられた。
- ・本邦研修は、NCC、教科別カリキュラム委員会（SWC）メンバーのカリキュラム開発と教科書承認プロセスの基本概念、教科書開発プロセスと教材の必要性の理解に貢献し、参加者は研修終了後承認プロセスにおいて高いイニシアチブを発揮した。
- ・プロジェクトでは、導入研修の実施状況についてモニタリングを実施している。モニタリングにより抽出された課題は、次期導入研修に係る研修内容や管理方法に適切に反映されている。さらに、NCC が独自に 1、2 年生の新カリキュラムの実践について教育現場の状況をモニタリングするなど、新カリキュラム内容等の改善に向けた提案を取りまとめている。

### 3-4 問題点及び問題を惹起した要因

#### (1) 計画内容

- ・カスケード形式による研修は、カスケードレベルが低いほど、概念の伝達度が低下する。さらに、クラスターでの研修と比較して、多大な費用が必要となる。カスケード型研修は、全国のすべての教員に知識を伝達するためには適しているが、継続的な知識の定着のためにはクラスターもしくは学校レベルにおける教員研修を組み合わせる必要がある。

#### (2) 実施プロセス

- ・プロジェクト開始以来、CDT 及び TET メンバーの 44%が交代した。この頻繁な離任は、プロジェクトの有効性と効率性を妨げている。
- ・現職教員のための導入研修及び教科書の承認プロセスにおいて、中等教育の教科書作成を支援するアジア開発銀行（ADB）－中等教育カリキュラム改訂プロジェクト（EYE）プロジェクトの活動との重複により、研修講師の不足や中等、初等教育双方を担当する NCC、SWC による承認プロセスが遅滞する可能性が生じている。

### 3-5 結論

中間レビューの結果、本プロジェクトは計画通り進捗しており、設定された成果を発現している。また、評価 5 項目においては妥当性「高い」、有効性とインパクト「やや高い」、効率性と持続性は「中程度」と評価される。

### 3-6 提言（プロジェクト終了までに実施すべき事項）

#### (1) 全教科の教科書配布

4 教科（ライフスキル、図工、体育、体育）の教科書が低学年（1～3 年生）の児童にも配布される必要がある。

#### (2) 教科書に準拠した学習教材の配布

プロジェクトにより必要な学習教材の一覧が作成されているが、これら必要な量の学習教材が各学校に配布される必要がある。

#### (3) すべての校長の導入研修への参加

校長の支援は教室での指導と学習の実践を継続的に改善するための重要な要素であることから、すべての校長が新カリキュラムについての理解を深めるために、導入訓練に参加する必要がある。

#### (4) 導入研修の内容の「国家 CPD プログラム」への統合

教員が新カリキュラムを教室で実施できるように、今後効果的な学校/クラスターベースの CPD の実施を促進するために、導入研修で提供されている新カリキュラムの重要な要素を「国家 CPD プログラム」に統合する必要がある。

(5) 新カリキュラムについての保護者、一般市民への啓発活動

親や地域住民は学校での新カリキュラムの実施を支援するための重要な利害関係者であることから、彼らの理解を促進し、新たな教授・学習方法を受け入れられる必要がある。プロジェクトは PTA や地域住民が参加するプログラムとの連携により、新カリキュラムに係る広報活動の強化を支援することが求められ、また、プロジェクトが作成した広報媒体をこれらのプログラムで効果的に利用することを検討する。

(6) CDT の優秀な人材の獲得と業務の継続

CDT への人材配置は一時的なものであり、正式なキャリアパスも設定されていない。プロジェクト期間中及び終了後 CDT メンバーがカリキュラム開発を継続できるよう、教育省は CDT メンバーへの適切なインセンティブの付与の検討をする必要がある。

(7) カリキュラム改訂の組織・制度化

次期カリキュラム及び教科書改訂のプロセスに関しては、具体的なスケジュール、全体的な実施プロセスを定義し、必要な人材の職務、人数、処遇等を検討する。更には、カリキュラム改訂の組織・制度化について、次期 NESP の中で具体的に計画・承認し、必要な予算を確保する。

(8) プロジェクト・デザイン・マトリックス (PDM) 指標の見直し

プロジェクト目標及び上位目標の指標のいくつかは、プロジェクト効果を測定するために適切でない、また他の指標との重複がみられることから PDM に記載された指標を修正する必要がある。

### 3-7 教訓

(1) 包括的なアプローチで全科目のカリキュラム開発を支援する意義

初等教育に係る全 10 科目を包括的なアプローチで支援することにより、科目間の系統性が確保され、新カリキュラムの教育現場での導入が促進される。また、全教科の教科書で同じ教育理念が共有されることにより、教員や児童が混乱することなく導入が可能となる。さらに、教科書作成のみならず、教員養成、現職教員研修、教員や保護者、地域住民等への広報活動を用いた包括的アプローチの採用は、新カリキュラム実施の促進につながった。

(2) 児童の学習成果を測定し、新カリキュラム理解促進につなげることの重要性

インパクト調査の結果、新カリキュラムは児童の学習成果向上に寄与している。新カリキュラム導入後に「新カリキュラムで児童の学びは改善されているのか、学力は落ちていないのか」といった教師や保護者の不安の声が聞かれたなか、プロジェクトが実施したインパクト調査の結果を示すことで、そのような不安を低減でき、新カリキュラムに基づく授業実践の推進に有効であった。

(3) 過去の基礎教育協力の蓄積による効果

ミャンマーへの協力において築いてきた信頼関係の蓄積のうえで、初等教育全 5 学年・全 10

科目のカリキュラム改訂という、教育改革の根幹にかかわる技術協力の要請につながった。また、過去の技術協力プロジェクトである「児童中心型教育プロジェクト」のカウンターパートが本プロジェクトの円滑な実施に貢献するなど、過去の支援による蓄積がプロジェクトの効果的実施を促進している。